



紫雲児の心

災害に備え、共助を考える～中学生にもできること～

校長 五十嵐 めぐみ

6月10日(月)に、紫雲寺小学校の全校児童、紫雲寺保育園の年長児と、紫雲寺中学校全校生徒とで、合同避難訓練を行いました。この訓練は平成27年度から行われていたのですが、コロナ感染症禍での休止を経て、令和4年度から再開しています。

これまでは、大津波警報が発令されたら、とにかく「近隣で一番高い場所」である紫雲寺中学校の3階へ避難するという子どもたちに体験してもらい万一に備えることを目的に実施していました。しかし、今年の元日には実際に地震が起こり、津波警報も発令されました。これを受け、これまでのやり方で本当に良いのか?と考え、今年度は新発田市の地域安全課にお願いし、職員の方に訓練の様子を見てもらってアドバイスをいただきました。さらに、小学生と保育園児が帰った後で、中学生に向けてお話いただきました。

当日は、まず、地震想定でグラウンドに一次避難しました。この時点で、想定よりかなり素早く避難できました。その後、「大津波警報が発令されたため、3階に避難する」という想定で、この辺りで最も高い校舎3階へ避難しました。この時は、小学生や保育園児(年長児)も紫雲寺中学校の3階へ向かいました。3年生は先に3階へ行き、自分たちの教室の机を寄せて多くの人が入れるようにしました。2学年委員は、小学生や保育園児が迷わないように、玄関や階段などの要所要所で誘導してくれました。

市地域安全課の防災専門員の高橋様から避難訓練の様子を参観していただき、みんなが真剣に素早く避難できていて素晴らしいと誉めていただきました。その後、「災害発生時の心構え、中学生ができる共助」について、全校生徒にお話をさせていただきました。

高橋様は初めに、東日本大震災での「釜石の奇跡」の例を示して、訓練の大切さを話されました。日ごろから訓練しておくことで、万一災害が起きた時にも正しい判断ができ、命を守ることに繋がると、訓練の意義を確認できました。そして、かつては「天災は、忘れた頃にやってくる」と言われていたが、近年では立て続けに様々な天災が起こっており、日ごろから万一に備えておくことが重要であること、災害への備えとして、自助、共助、公助の3つがあり、中学生は、自助と共助について考えてほしいと話されました。

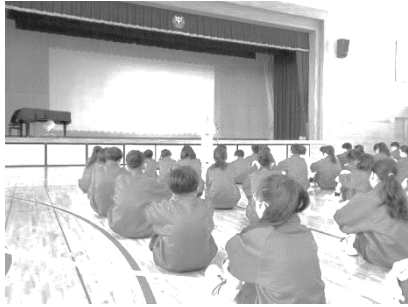
「自助」は自分の命を守ることで、地震が発生した際は、まず自分の命、中でも頭を守ることが最も重要である。さらに、中学生ともなれば人の役に立つことができるので、「自分にも何かできることはないか?」と、共助についても考えてほしいと話されました。

1月1日の地震の際は、元日だったので授業もなく、家族一緒に過ごしていた人が多かったと思います。しかし、天災はいつ起こるかわかりません。在校時に起これば先生の指示にしたがって行動しますが、自宅にいる時に災害が発生したらどうするか?家族がいれば家族と一緒に行動するでしょうが、家族が不在ならどうするか?また、家族がいても、仕事によっては、災害が発生した際、対応をしなければならぬこともあるでしょう。そんな時は、中学生が幼い子どもやお年寄りを守る必要があるかもしれません。万一に備え、是非、家族で話し合ってもらいたいと、高橋様はお話されていました。また、学校が避難所になれば、地域の方がたくさん学校に来られます。自分にできることは何か?自分の得意を生かして、自分にもできる「共助」を具体的に考えてほしい。今回の訓練では、2年生の学年委員が幼い子を誘導してくれましたが、与えられた役割を果たすことが地域を守ることに繋がるので、このような訓練を、自分に何ができるかを考えるきっかけにしてほしいと話されました。

生徒たちはお話を真剣に聞き、その後の振り返りでは、しっかり自分ごととして捉えて書いていました。ご家庭でも是非、「万一の時はどうするのか?」について、話し合ってみてください。

保小中合同避難訓練・防災講話～6月10日～

6月10日(月)に地震・津波想定避難訓練を行いました。その後の防災講話では、新発田市総合政策課防災専門員様から「共助」についてお話をいただきました。生徒の感想を紹介します。



今日の避難訓練で学んだことは、もし、自然災害が起こった時大津波警報と発表され津波の予想が発表されても、「もしかしたらその予想を上回る津波が来るかもしれない」と考えて行動したり、避難して安心してないで「これからもっと大きい津波が来るかもしれない」と考える事が大切だと思いました。

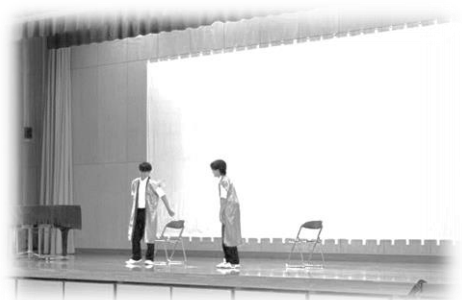
地震が起きたときは自分の命を守るのもあるけど他の人が動けない状態だったり走れないひともいるから協力して避難することも大事だと分かった

高橋さんの話を聞いて、東日本大震災を生かすというか東日本大震災で起きたことを学び、これからは起きたら地震大津波警報などの行動に移せたらいいなと思いました。もし津波が起こったとして焦らずに行動していきたいと思ったし、誰かを助けていけたらいいと思いました。外出先で、屋外、屋内で地震が起きたとしても、いつでも冷静になって行動したいと思ったし、誰か逃げ遅れてたりしたら、助けてあげられる心持ちをもちたいと思った。高橋さんの話も先生の話も聞いてみて思ったよりも行動が早くて安心したし、誰も逃げ遅れがなくていいと感じた。小学校とは全然違ってびっくりしました。次の避難訓練では喋らずにできたらいいなと思いました

体育祭軍団抽選会～6月17日(月)～

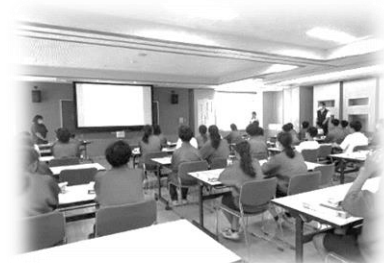
6月19日(月)に今年の体育祭の軍団カラーを決める抽選会が行われました。生徒会総務企画による抽選で以下の通りの組み分けとなりました。今年度の体育祭は、熱中症対策を考慮して9月21日(土)に実施予定です。

	1年	2年	3年
青軍	2組	2組	1組
赤軍	1組	1組	2組



生と性の講演会～6月17日(月)～

6月17日(月)に、保健師の酒井由美子様を講師に迎えて、2年生とその保護者を対象に「生と性の講演会」を開催しました。心も体も大きく変化し成長する思春期。心の不安定は成長の証。だからこそ「命」を大切に毎日を過ごしていかうと、お話をいただきました。当日は7名の保護者の皆様にも参加していただき、親子で「命」について考える機会になりました。生徒の感想を紹介します。



今回のお話の中で、思春期の中学生にとっても大切なことが分かりました。特に睡眠をとること、悩みがあったら1人でずつと抱え込まずに信頼できる人に相談する。この2つが特に大切だと思いました。

自分の「命」に代わる「命」はなく、1人1人がかけがえのない大切な「命」で、過去から続く「命」の最前列にいるのが自分だということを忘れないようにしてこれから生きていこうと思いました。



思春期には「こころ」と「からだ」の変化が起きることが分かりました。中学生は、たくさん寝ることで嫌なことやストレスを忘れてやる気が出るのが分かりました。人の違いを個性として受け入れることがとても大事なことなんだなと思いました。つらい時は誰かに相談することが、自分の命を守ることにつながることだと思いました。

交通安全街頭指導～6月3日(月)～6月7日(金)

P T A地区委員の皆さんが、交通安全街頭指導を行いました。概ね「あいさつ○」「ヘルメット○」でしたが、安全のために、一時停止や左側通行について再度確認していきましょう。

- ・ その場での指導とはいきませんでした。一時停止、並進の禁止、左側通行に関しては今後も指導が必要かと思えます。私が見た限りですが、3年生の様子がとても良かったです。
 - ・ きちんと交通ルールを守って登校していた。挨拶もできていた。スピードを出して走行する車が多い道路なので、砂利道から出て道路を渡るときは十分注意して渡ってほしい。
 - ・ きちんと横断歩道を通っていました。信号も守っていました。
 - ・ ほとんどの生徒が挨拶を返してくれました。1年生が横並びになり自転車通学していたので危ないと思いました。
 - ・ みんなヘルメットを着用して元気にあいさつして登校していました。
 - ・ れんぎょうの里入口にて街頭指導をしました。美容室ルイール横の一時停止では、数人を除き、きちんと停止していました。ルイール前の道は横断歩道もなく、車もスピードを落とさず通るので、必ず一時停止をしないと事故につながると思いました。自転車の子はヘルメット着用、左側通行で、みんなあいさつをしてくれて良かったです。
 - ・ ルールを守れているし、挨拶もする子ばかりでした。
 - ・ 中学前の車道に出る時は一例になり左側になっていたが、藤塚浜方面から来る子たちなのか、小路から三列になったり左側通行じゃない子もいました。ヘルメットや挨拶はちゃんとしていました。
 - ・ 全員がヘルメットをしっかりと着用していました。広い道路では車が来ない時、横に広がってしまう生徒がいました。
 - ・ 子どもたちはみんな、進んで挨拶をしてくれ、ヘルメットもあご紐をして正しい装着の仕方でした。問題なかったと思います。
 - ・ 子ども達は交通ルールを守り、一時停止をしっかりと安全を確認してから交差点に進入していました。その一方で、車はスピードを落とすことがないので危険だなと感じました。
 - ・ 挨拶は自ら元気にしてくれる子もいて、非常に良かったと思います。藤塚方面からの自転車通学者について、一部の生徒が一時停止をしておりませんでした。車が来ているにもかかわらず飛び出し、思わず「危ない！」と言ってしまう場面がありました。
 - ・ 挨拶も良く、きちんと信号も守っていました。押しボタン式の信号を車の量に配慮しながら押している生徒が多数いて感心しました。
 - ・ 挨拶は少し元気がなかったが、ヘルメットをしっかりと着用し、落ち着いて登校できていました。
 - ・ 紫雲寺橋押しボタン信号前にて街頭指導。自転車通学の中学生達、ヘルメット着用OK。並進走行なし。気持ちの良い挨拶をしてくれました。
 - ・ 自発的な挨拶はありませんでしたが、こちらから挨拶をする事できちんと挨拶はできていました。しかし、赤信号の待ち時間が長いと感じたのか、2人組の男子生徒は「こっちから行こう」と言って、待ち時間の途中から別な道を選択して通学していました。
- 
- 
- ・ 自転車マナーを守って、通学していました。子供達は皆、挨拶をしてくれてとても朝から気持ちが良かったです。
 - ・ 自転車登校で、ヘルメット着用や一時停止をしっかりと守れていました。地域の方に大きな声で挨拶をしていたので、見ていて気持ちが良かったです。
 - ・ 自転車通学の子は、ヘルメットをきちんと着用していました。止まれの所もちゃんと止まって確認していました。
 - ・ 自転車通学の生徒たちがほとんどでしたが、一列通行・ヘルメット装着もしっかり守っており、挨拶もきちんとしていたのでとても良かったと思います。
- ・ みなさん交通ルールを守っていました。
 - ・ 時折、並走している生徒も見られましたが、おおむねルール通りに登校していましたし、挨拶もしっかりしていました。
 - ・ 須貝医院十字路に立ちました。道楽の郷から横断するのは押しボタンですが、そのまま縦断しています。止まるのが正しいのでは?と思ったのですがご確認願います。ヘルメット着用百点満点!

下越地区大会の結果

6月9日(金)・21日(金)・22日(土)に各種大会、6月12日(水)・13日(木)に陸上大会があり、どの部も紫雲寺中学校の代表として立派に戦ってきました。陸上競技の県大会は7月20日(土)・21日(日)に行われます。

○ 陸上競技			
男子		女子	
100m 400m 走幅跳 三段跳 砲丸投 4×100mR		砲丸投 円盤投 低学年 4×100mR	<u>(下線は県大会出場)</u>
○ 軟式野球 Aブロック 1回戦 対豊浦・安田・川東 8-0 6回コールド勝 2回戦 対佐和田 1-2 惜敗			
○ ソフトテニス 【男子個人】			
○ 卓球			
男子		女子	
【団体】 予選リーグ敗退 予選リーグ 対山北 0-3 負 対中条 3-1 勝 【個人】		【団体】 準決勝リーグ敗退 予選リーグ 対村上東 3-1 勝 対五泉 3-2 勝 対安田 3-0 勝 準決勝リーグ 対村上第一 1-3 負 対聖籠 2-3 負 対朝日 3-1 勝 対相川 3-0 勝 【個人】	

7月の予定



1日(月) 定期テスト①	12日(金) 小中合同あいさつ運動(藤塚小)
2日(火) 定期テスト② 3学年PTA 高校説明会	13日(土)~15日(月) 県総体(各種)
3日(水) 専門委員会	17日(水)・18日(火) 2年生職場体験 1年生CAP
4日(木) 県大会激励会	20日(土)・21日(日) 県総体(陸上)
5日(金) 2年生マナー講座	23日(火) 給食後放課 部活動なし
7日(日)・8日(月) 通信陸上大会	24日(水) 1学年PTASNSトラブル講演会
8日(月) 生徒朝会 預り金引落日	25日(木) 1学期終業式 期末清掃 体育祭結団式 給食最終日
9日(火) 小中合同あいさつ運動(紫雲寺小)	26日(金) 夏季学習会
10日(水) 職員会議 小中合同あいさつ運動(紫雲寺小・米子小)	29日(月)~8月2日(金) 保護者面談 (3年生は三者面談)
11日(木) 小中合同あいさつ運動(米子小・藤塚小)	

※変更になることもあります。ご了承ください。